

社会科学習指導案

令和8年5月27日(水) 5校時 1年D組教室
授業学級 1年D組(36名)
授業者 小林 敏光

1 小单元名 「人類が生み出したものは何か」

2 小单元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 技 文明や宗教に関わる様々な資料を収集して、必要な情報を選択し、読み取った内容をまとめている。 【B(1)イ(ア)】	思 古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、追究の結果について、自分の言葉で表現している。 【B(1)イ(ア)】	態 古代文明や宗教がおきた要因を主体的に追究しようとしている。

3 基礎研究

(1) 生徒の研究

前単元の地理的分野「世界や日本の姿」の学習において、生徒は、世界や日本の位置や空間の広がりに着目して、地域構成を比較することで、世界や日本の地理的認識を深めることができた。また、単元の終末では、世界の国について紹介し合ったり、日本の位置や領域の範囲などの概要を説明し合ったりする学習を行い、世界や日本の地域構成の特色を、分布や位置、緯度や経度などに着目して、地域構成を比較することで、多面的・多角的に考察し、表現することができた。これらのことから、事象を比較して捉えていくことで、事象の関連性を見いだしやすくなるが見えてきた。

(2) 素材の研究

本単元では、人類の出現や古代文明、宗教を取り上げる。本単元で扱う内容には、解明されていない不確かな部分が多くあり、生徒は、様々な予想や考察を行うだろう。それらの予想や考察から、多くの生徒の考えを取り上げながら、事象の関連性を学級全体で考察することができる材が、本単元で扱う古代文明や宗教の学習である。文明や宗教は世界各地でおきており、それぞれに相違点がある一方で、共通点も存在するため、それらを見いだしていくことで、古代文明や宗教の特色を捉えることができる材である。したがって、古代文明や宗教のそれぞれの共通点や相違点を見いだしやすくするために、文明や宗教同士を比較して考えていくことが重要だと考えた。

(3) 教材化の研究

本単元では、教師は導入場面で人類と類人猿を比較する資料を提示し、どのような違いがあるのかや、人類にだけできることは何か問い掛ける。生徒は、文字や道具が使えること、武器が使われ、争いがおきるようになったことなどを挙げるだろう。そこで、教師は、生徒が挙げた語句を古い順番に並べ替えることを提案する。生徒は、人類がだんだんと進化しながら、様々なものを生み出していったことに気付くだろう。そこで、教師は、単元の学習問題を「人類は進化する中で、何を生み出してきたのだろうか」と設定し、単元の学習問題について予想する場を設ける。生徒は、人類の進化、文明の発達、宗教などと予想するだろう。それらの予想から、人類の出現、古代文明の特徴、そして宗教のおこりについて、学習する見通しをもつだろう。

人類の出現の学習では、教師は、人類の進化の図を導入資料として提示する。生徒は、

人類が進化した要因に疑問をもつだろう。そこで、教師は、学習問題を設定し、生徒の予想から学習課題を据え、追究資料を提示する。生徒は、追究資料から人類の進化の過程にどのような事象があったのか追究し、環境の変化や暮らしの様子、道具の使い方などを関連付け、進化の前後を比較しながら人類の進化の要因をまとめていくだろう。古代文明の学習では、教師は、遺跡の写真を導入資料として提示する。生徒は、リーダーの存在があったという共通点や文明が生まれた場所が異なるという相違点に気付くだろう。そこで、教師は、学習問題を設定し、生徒の予想から学習課題を据え、追究資料を提示する。生徒は、追究資料から文明のおきた環境や社会の様子について共通点と相違点を考察し、それぞれの文明を比較しながら、古代文明の特色を見いだしていくだろう。宗教の学習においても同様に、三大宗教における共通点や相違点を考察し、それらを比較していくことで、宗教の特色を見いだしていく。単元の終末では、古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、単元の学習問題に対する考えを表現していくだろう。

4 単元展開 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する学習

時間	◆ <u>ねらい</u>	○「評定に用いる評価」 ●「学習改善につなげる評価」	評価の 観点
	・教師の指導、支援 ■生徒の活動		
第1時	◆ <u>単元の学習の見通しをもつ</u> ・導入資料として人類と類人猿の写真を提示し、人類が現代に至るまでに使うようになったり、行うようになったりするものを考えるように促す。 ・人類と類人猿(猿)を比較して、違いを考える場を設け、人類が進んだ文明を築いてきたことを確認する。 ・人類が進化の中で様々なものを生み出し、可能にしてきたことに気付いた生徒の姿から、単元の学習問題を設定する。 【単元の学習問題】人類は進化する中で、何を生み出してきたのだろうか。 ・単元の学習問題について、予想する場を設ける。		●知 ●態
第2時	◆ <u>人類が進化した要因を理解する</u> ・類人猿から人類への進化の図を提示し、学習問題を設定する。 【学習問題】人類は、なぜ進化することができたのだろうか。 ・環境の変化や道具の使用などの予想から学習課題を据える。 【学習課題】環境の変化や道具に着目して、進化の過程を調べよう。 ■人類が進化した要因について、資料から考察する。		●技 ●態
第3、4時	◆ <u>古代文明や宗教のおこりを基に、世界各地で文明が築かれたことを理解する</u> ・古代文明の遺跡の写真を導入資料として提示し、共通点や相違点に着目して学習問題を設定する。 【学習問題】古代文明の共通点や相違点は何だろうか。 ・遺跡にリーダーの存在が見える、遺跡がある場所が異なるなどの予想から学習課題を据える。 【学習課題】文明のおきた場所や社会の様子に着目して、比較して考えよう。 ■古代文明の共通点や相違点を、資料から考察する。		●知 ○技 ●思
第5時 (本時)	本時案参照		●知 ○技
第6時	◆ <u>単元の学習を振り返り、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、追究の結果について、自分の言葉で表現する</u> ・単元の学習問題に対する自分の考えをまとめる場を設ける。 ・自分の意見と友の意見を比較し、自分の考えを捉え直すように促す。 ■思考ツール(クラゲチャート)を使用し、古代文明や三大宗教のおきた要因についてまとめ、友と意見を交わして自らの意見と友の意見を比較し、自らの意見を再構成する。		○知 ○思 ○態

5 本時案

(1) 単元名 「人類が生み出したものは何か」・1年

(2) 主眼

※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

三大宗教の共通点や相違点を考える場面で、宗教の広まった場所や成り立ちに着目して、三つの宗教について比較することを通して、宗教がおこった場所は異なるものの、社会や制度に対する不満からそれぞれの宗教がおきたことを理解することができる。 【B(1)イ(ア)】

(3) 単元の学習問題：人類は進化の中で、何を生み出してきたのだろうか。

(4) 本時の位置

前時：古代文明の共通点や相違点について考察した。

次時：単元のまとめとして、人類が進化の中で生み出したものについてまとめる。

(5) 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 学習問題を設定し、予想から学習課題を据える。	ア 3枚とも祈っている様子の写真だ。祈っている場所は、ばらばらだ。きっとそれぞれの宗教が異なると思う。 イ 2枚の写真は教会やお寺でお祈りしているけど、1枚だけ街中の服屋の前でお祈りしているのはなぜだろう。	・導入資料を提示し、気付いたことや疑問に思ったことを発言するように促し、アやイのように共通点や相違点に着目している考えから学習問題を設定する。	10分
		学習問題：三大宗教の共通点や相違点は何だろうか。 ウ 宗教が広まっている地域が違うと思う。また、祈っている様子が異なるから、それぞれの成り立ちが異なると思う。これまでのように比較して考えるとよさそうだ。	・学習問題に対して予想するように促す。 ・ウのような予想から、学習課題を据える。	
展開	2 資料から読み取ったことをワークシートに記入する。	エ 資料1から、イスラム教は西アジア、キリスト教は地中海沿岸、仏教はインドから広まっていたことから、宗教はさまざまな場所でおきたことが分かる。これが相違点になりそうだ。 オ 資料4から、イスラム教、キリスト教、仏教は、信じているものが異なるから、それが相違点になりそうだ。でも、共通点は何だろうか。	・追究資料を配付し、資料から読み取れることをワークシートに記入するように促す。 ・記入の進まない生徒には、資料4の表から違いを読み取るように助言する。	18分
	3 グループで共有した後、全体で共有する。	カ Aさんの読み取りから、資料3を見ると、キリスト教とイスラム教は、どちらもユダヤ教の影響を受けているという点で共通点がありそうだ。また、資料4と関連付けると、イスラム教は神への絶対的な服従を説いているから、そこは相違点になりそうだ。また、仏教は、信仰の対象に神が存在せず、他の宗教と明らかに異なっているということが分かった。 キ Bさんは、祈るという共通点に着目していた。前時の学習から、戦いがあり、大変な世の中でも、救われるために祈るという行為をしていたのではないかと考えていた。そう考えると、人々にとって宗教が大切であると分かる。	・オのような反応から、3～4人のグループで追究した内容を共有するよう促す。 ・カのような各宗教における共通点と相違点に着目している意見を取り上げ、板書する。 ・キのような、人々にとって宗教がどのようなものだったのかに着目して、前時までの学習と関連付けている考えを取り上げる。	14分
終末	4 本時の振り返りをワークシートに記入する。	ク 三大宗教は、おきた場所がそれぞれ異なっていたが、おきた時期も成り立ちもそれぞれ違っていた。それぞれの宗教に特色が多くあるということが分かった。また、宗教が誕生した背景には、社会や制度などに対する不満や批判があったという共通点もあった。 ケ 人類が生み出したものの一つには宗教があって、自分たちの身の回りのことを振り返ると、日常の中に宗教に関わる習慣や行事があるので、宗教は今でも私たちの生活に影響を与えていると思った。	・本時の振り返りを記入し、発言するように促す。 宗教が起こった場所は異なるものの、社会や制度に対する不満からそれぞれの宗教が起きたことを理解している。(ワークシート) ・ケのような単元の学習問題と関連付けている考えを取り上げ次時につなげる。	8分